資料７

R6.1.22 総合教育会議資料（学校教育課）

外国語教育推進事業について

１　概要

南相馬市の児童・生徒の語学力向上と国際理解教育の推進を目的に、令和５年度に引き続き、語学習得度に合わせた学習支援を行う。

また、小高小中学校では、令和３年４月に小高区４小学校が再編統合され、学区が同一となったことから、小高区文教ゾーンの利点を生かした小中一貫教育をスタートした。学校適正化の効果を生かした魅力ある教育環境を整備するため、令和４年度からモデル事業として始めた外国語教育について、令和５年度に引き続き、幼保・小・中の発達段階に応じた体系的な取組みを図る。

２　事業案

（１）ＡＬＴによるＡＬＴＤＡＹ（対象：中学１年生）【新規】

令和６年度よりブリティッシュヒルズ日帰り研修に替えて、中学１年生を対象とし、ＡＬＴによるＡＬＴＤＡＹを実施するもの。

（２）フォニックス学習導入に合わせた英語図書（多読図書）の導入【新規】

フォニックス学習と合わせ、気軽に英語に触れられる環境を整えるため、市内小学校へ多読用図書（例：Oxford　Reading Tree シリーズ）を購入することとする。

なお、図書購入にあたっては、外国語教育推進アドバイザーに選書いただく。

※「Oxford　Reading Tree」とは、英国のオックスフォード大学出版が出版する英語学習用絵本であり、英国の８割の小学校で教科書として活用されている図書。10 段階にレベル分けされ、頻繁に使う表現が繰り返されるため、英語学習用教材として最適とされている。

（３）小学校におけるフォニックス学習【拡充】

令和４年度に引き続き、小高小学校においても取組むこととするが、対象を市内小学校へ拡大する。Grade１～４を活用することとし、１年生 Grade１、２年生～４年生 Grade２、５年生～６年生 Grade３～４とする。

（４）㈱アイティソルブとの業務委託による英語発音あそび指導【拡充】

令和５年度に引き続き、㈱アイティソルブとの業務委託により、幼児期の英語発音教育を行うため、市内公立幼稚園及び保育園にて英語発音あそびを実施する。

導入２年目となる令和６年度においては、令和５年度において園児への指導経験のある保育士・幼稚園教諭（指導者）らが、令和６年度に在籍する幼稚園又は保育園にて引き続き英語発音あそびの指導を行う。その間も引き続き保育士・幼稚園教諭（指導者）らへのトレーニングを継続する。また、新たに保育士・幼稚園教諭（指導者）に英語発音指導（指導者育成）を行い、園児への指導につなげていく。

（５）外国語教育推進アドバイザー【拡充】

令和５年度に引き続き、外国語教育の効果的な学習方法の構築や推進を図るため、株式会社 J Institute 代表取締役 CEO　斉藤 淳氏に外国語教育推進アドバイザーを依頼。

【名称】南相馬市外国語教育推進アドバイザー

【職務】・フォニックス学習を含む外国語授業に係る助言
・外国語教育の効果的な推進方法に係る提案
・外国語教育に係る講演会講師
・その他南相馬市の外国語教育に係る助言・提案

（６）英語検定支援（対象：中学生全員）【継続】

国の第３期教育振興基本計画で掲げられている、中学校卒業段階で英検３級程度以上を達成する生徒割合を５０％以上とする目標を早期に達成するため、市内中学生全員を対象に英検受験料の支援を行う。

想定する学年ごとの受験級　中１：５級受験、中２：４級受験、中３：３級受験

（７）英語教員研修（対象：小学校英語教員３名・指導主事１名）《モデル事業》【継続】

令和５年度に引き続き英語教育の推進のために、教員の指導力強化は不可欠であることから教員研修（ブリティッシュヒルズの教員研修・１泊２日）を支援する。

【対象者】小学校教員３名